

2030年のあるべき姿
目標 人口:30万人 住みやすいと思う人の割合:100%

SDGs 未来 安心 都市・明石

いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで

いつまでも 持続可能

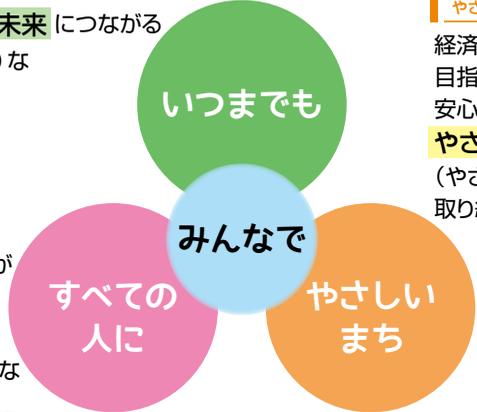
まちの好循環により、明るい未来につながる
サステナブル(持続可能)な
まちづくりに取り組みます。

すべての人に 誰一人として取り残さない

年齢・性別・国籍・障害
などに関わらず、すべての人が
安心を感じられる
インクルーシブ
(誰一人として取り残さない)な
まちづくりに取り組みます。

やさしいまち やさしい社会を明石から

経済・社会・環境の統合的向上を
目指し、ハード・ソフト両面から
安心して暮らし続けられる
やさしいまちづくり
(やさしい社会を明石から)に
取り組みます。



みんな パートナーシップ

市・市民・事業者などが一丸となって
みんな(パートナーシップ)で目標
の達成に向けて取り組みます。



あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)を全会一致で可決

コロナ禍の中、2年間にわたる議会での審議を経て、本市の新しい総合計画が策定されました。

あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)の概要

同計画は、2030年度(令和12年度)までの今後9年間の明石のまちづくりの基本方針となり、あるべき姿やまちづくりの方向性を示すものです。

2030年のまちのあるべき姿は、SDGsの理念を踏まえ、「SDGs未来安心都市・明石 いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで」と定めています。まちづくりの方向性は、経済・社会・環境の三側面から統合的にバランスよく取り組み、相乗効果を生み出すとしています。

特別委員会での主な審査の内容

本市では、総合計画の策定、変更または廃止について、議会の議決が必要です。市議会では2020年3月に計画策定に向けて特別委員会を設置し、約2年間にわたり議論してきました。

二元代表制の一翼として、市政の重要案件である総合計画を素案の段階から十分に議論し、責任を持って策定するため、市民や事業者などの多様な意見を反映していけるよう、調査・研究を進めてきました。これまでの主な審査の内容をお知らせします。

○2020年6月24日

市 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、次期総合計画の策定には、市民参画や審議会での丁寧かつ十分な検討を行う必要があるため、策定を1年延期し、2022年3月としたい。

委員 審議会の開催方法を工夫して、早期に検討を再開すべきではないか。

市 審議会の再開時期は未定だが、オンライン会議の実施なども含めて検討したい。

○2020年12月16日

委員 コロナ禍ではあるが、前回の総合計画策定時よりも市民参画を丁寧に行い、各種団体や学生など多様な意見を反映させるべきだ。

市 今後も広く市民の声を聴く姿勢で総合計画の策定を進めていく考えである。広報紙やホームページだけではなく、各種団体との意見交換会や市民説明会、パブリックコメントなどを行う予定だ。

○2021年3月11日

委員 まちづくりの数値目標は、アフターコロナの社会情勢に配慮した数値とするべきではないか。

市 今後のコロナ禍の影響を踏まえ検討していく。

○2021年6月23日

委員 SDGsが目指す理想の社会と10年後の明石市のあるべき姿は似ているが一緒ではない。目標達成手段としてSDGsがあると考え、どちらを優先するのか。

市 次期総合計画は、SDGsの考え方を基本にしている。明石らしさも出しながら、一体の計画として提示していきたい。

○2021年9月27日

委員 コロナ禍の影響で2022年3月から、3〜6カ月程度延長した策定スケジュールを見直すというが、人員体制は。

市 ワクチン接種等の応援に従事している担当部署の職員を年末には復帰させる。全庁を挙げて2022年3月の策定を目指す。

委員 国のデジタル庁発足により行政のデジタル化が進むなど、アフターコロナを見据えた動きがあるため、これらを施策に組み入れてはどうか。

市 アフターコロナを見据えた施策として、コロナ禍により顕在化したデジタル化の必要性や、防災・感染症対策の強化など、日常の安全・安心対策を次期総合計画に位置付ける考えだ。

○2021年12月15日

委員 現状、道路や公共施設、水管橋などのインフラ点検・整備ができていない部分が多いと考える。

市 公共施設の維持管理や老朽化対策などは、現在も進めているが、次期戦略計画にも明確に位置付けた上で、しっかりと取り組んでいく。

委員 これまでの戦略計画には工業振興ビジョンが記載されていたが、今回はなぜ入っていないのか。

市 現在、ビジョンを策定していないためであるが検討したい。

○2022年3月11日

委員 総合計画は、今後の明石のまちづくりの方向性であり、施策推進の基軸となる重要な計画である。今後、広報あかしなどのさまざまな媒体を用いて、広く情報発信する必要がある。併せて、SDGsの理念も周知・啓発に努めてほしい。

市 次期総合計画の推進に当たっては、SDGsの考え方をまちづくりの基本としていることを、市民や事業者へ広く周知していく。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標

